

**公益財団法人さんりく基金**  
**平成 24 年度第 2 回理事会 議事録**

1 開催の日時及び場所

- (1) 日時 平成 25 年 1 月 22 日 (火) 午後 14 時 00 分から午後 14 時 40 分
- (2) 場所 岩手県盛岡市内丸 10 番 1 号 岩手県庁 4 階 4-1 特別会議室

2 役員の現在数 理事 6 名 監事 2 名

3 出席者

(1) 役員

代表理事 千葉 茂樹 理事 緒方 武比古  
理事 杉本 功陽 理事 望月 正彦

(2) 監事

監事 平賀 富比古 監事 向井田 敏宏

(3) 事務局

事務局長 伊藤 仁  
事務局次長 高橋 孝政 事務局次長 桜田 功  
事務局員 藤原 杏奈 事務局員 川村 泉

4 欠席者

業務執行理事 佐々木 幸弘 理事 植田 眞弘

5 議事の経過

午後 14 時 00 分開会した。

桜田事務局次長から、理事現在数 6 名中、本人出席 4 名により、定款第 37 条に定める定足数の 3 分の 2 以上の出席を満たしているため、本理事会は成立しているとの報告があった。また、監事には理事会運営規則第 13 条の規定により、理事会に出席し、意見を頂くこととなり出席いただいているとの説明があった。続いて、千葉代表理事より、あいさつがあった。

続いて、定款第 39 条第 2 項により、議事録署名人は平賀監事、向井田監事の両監事が選任された。

以降の進行は、定款第 36 条の規定により、代表理事が行うこととなった。

報告 (1) 「職務執行の状況について」

代表理事より定款第 28 条第 3 項の規定による職務執行の状況について別紙報告資料に基づき報告があった。なお補足説明を事務局より行った。

議長が、報告について質問、意見を求めた。

**【平賀監事】**

助成事業の完了確認は、どのように実施しているか。

**【伊藤事務局長】**

助成金に関しては、審査委員会で採択し交付決定を行っているが、前金払いは一切していない。完了した際に証拠写真や領収書を添付していただき、完了確認した後、助成金の交付をしている。また、職員が全てではないが主だったところを直接訪問し、実施状況を確認している。

議長が他に質問、意見を求めたが、特に発言はなく、直ちに議案の審議に入った。

**第1号議案「平成25年度事業計画及び収支予算の承認について」**

議長は、第1号議案について事務局に説明を求め、伊藤事務局長が別紙議案書に基づき説明した。

議長が、第1号議案について質問、意見を求めた。

**【望月理事】**

公1事業の「沿岸被災地の交通基盤整備後の需要・影響調査」について、コンサルに委託した場合、現状を基にした静的な調査に終わることが一般的である。だが、実際は利用促進策や取組によって結果が全く違ってくる。委託をする際に、単なる調査だけではなく、地域の取組によってこう変わってくるというのが分かる調査にするべき。どういった取組が必要か、取り組みや施策によって変数があるのかといった視点を取り入れて委託先に注文してほしい。

**【伊藤事務局長】**

調査費の中で検討委員会の開催を検討している。市町村や関係団体が集まって議論し、現場の人間を巻き込んで静的なデータと合わせてやっていきたい。同様に県外の経験者等も交えて検討会を開催し、調査だけで終わらないような仕組みを考えたい。

**【緒方理事】**

公4の事業「研究開発シーズ事業化助成」について、助成件数10件ということで絞って選定するようだが、選定の基準はどのようなものになるのか。

**【伊藤事務局長】**

しっかりとした企業としてのビジョン、目標、取り組みがあり、有望な事業を選ぶ。事業内容について県の工業技術センターから助言を頂いたこともあり、審査委員も専門家をお願いし、効果性を一番に考えたい。

議長が他に質問、意見を求めたが、特に発言はなく、第1号議案についてその賛否を諮ったところ、全員異議なく原案のとおり承認した。

第2号議案「平成24年度第2回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について」

議長は第2号議案について事務局に説明を求め、伊藤事務局長が説明した。

- ・開催日時 平成25年1月31日（木）13：30～
- ・開催場所 岩手県民会館 第4会議室
- ・議事に付すべき事項 平成25年度事業計画及び収支予算の承認について

議長が第2号議案について質問、意見を求めたが、特に発言は無く、その賛否を諮ったところ、全員異議なく原案のとおり議決した。

議長が、その他意見を求めたが、特に発言は無く終了した。

議長は、午後14時40分に閉会を宣言した。